

## 平成 27 年度化学物質環境実態調査の実施方針（案）

平成 26 年 12 月 24 日  
環境保健部環境安全課

環境省の化学物質関連施策に活用されるよう、担当部署から対象とする物質及び媒体についての要望等を踏まえ、調査を行うこととする。

要望を受けるに当たり、毒性等の知見に基づき各施策上の一定の判断基準として「要求検出下限値」を設定し、その下限値を満たすように分析法を開発する。その上で調査を実施することにより、調査結果が不検出であっても各施策において環境リスクが低いことを意味する結果として活用できるなど有効活用されるよう配慮するものとする。

調査目的に応じ、「初期環境調査」、「詳細環境調査」又は「モニタリング調査」に分類し、平成 21 年度に開催した「化学物質環境実態調査のあり方検討会」での検討結果を踏まえ、調査対象物質の特徴を考慮した調査地点、調査日数及び回数、調査検体（生物種等）等を選定し環境測定を実施する。

別添 1：平成 26 年度に分析法開発を行っている物質

別添 2：平成 27 年度以降の調査要望物質のうち既存の分析法がある物質

別添 3：平成 27 年度以降の調査要望物質のうち分析法の開発が必要な物質

平成 27 年度は、別添 1 のうち分析法が確立した物質と別添 2 の物質について、環境調査を実施する予定。

## 平成26年度に分析法開発を行っている物質

番号	調査物質名	対象媒体				分析法	要求下限
		水質	底質	生物	大気		
1	1-アミノ-9,10-アントラキノン	○				LC/MS	0.1 $\mu\text{g/L}$
			○			LC/MS	0.02 $\mu\text{g/g-dry}$
2	1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパン				○	GC/MS	45ng/m <sup>3</sup>
3	$\alpha$ -アルキル- $\omega$ -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)(アルキル基の炭素数が12から16までのもの。)(別名:ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から16までのもの。))	○				LC/MS	112 $\mu\text{g/L}$
4	アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム(アルキル基の炭素数が10から14までの直鎖のもの。)(別名:LAS(アルキル基の炭素数が10から14までの直鎖のもの。))		○			LC/MS	0.00017 $\mu\text{g/g-dry}$
				○		LC/MS	0.082 $\mu\text{g/g-wet}$
5	安息香酸ベンジル	○				GC/MS	0.014 $\mu\text{g/L}$
6	イソブチルアルデヒド				○	LC/MS	31,000ng/m <sup>3</sup>
7	2,2'-イミノジエタノール	○				LC/MS	0.78 $\mu\text{g/L}$
8	エチレングリコール(別名:1,2-エタンジオール)	○				GC/MS	1.3 $\mu\text{g/L}$
9	2-(2-エトキシエトキシ)エタノール	○				GC/MS	40 $\mu\text{g/L}$
10	1,2-エポキシ-3-(トリルオキシ)プロパン	○				LC/MS	0.28 $\mu\text{g/L}$
11	2,3-エポキシ-1-プロパノール				○	GC/MS	6.61 $\mu\text{g/m}^3$
12	クロロエタン	○				GC/MS	3.9 $\mu\text{g/L}$
13	クロロ酢酸(別名:モノクロロ酢酸)	○				GC/MS	0.058 $\mu\text{g/L}$
14	クロロ酢酸ナトリウム	○				GC/MS	0.0058 $\mu\text{g/L}$
15	3-クロロプロペン	○				GC/MS	0.1 $\mu\text{g/L}$
16	2,4-ジアミノアニソール	○				LC/MS	1.2 $\mu\text{g/L}$ 以下
17	シクロヘキサ-1-エン-1,2-ジカルボキシイミドメチル=(1RS)=cis-trans-2,2-ジメチル-3-(2-メチルプロパ-1-エニル)シクロプロパンカルボキシラート	○				LC/MS	0.000037 $\mu\text{g/L}$
18	1,3-ジクロロプロペン(別名:D-D)	○				GC/MS	0.059 $\mu\text{g/L}$
19	ジフェニルジスルファン(別名:ジフェニルジスルフィド)	○				LC/MS	0.007 $\mu\text{g/L}$
20	ジブチルスズ化合物	○				GC/MS	0.00042 $\mu\text{g/L}$
21	N,N-ジメチルアセトアミド	○				GC/MS	500 $\mu\text{g/L}$

番号	調査物質名	対象媒体				分析法	要求下限
		水質	底質	生物	大気		
22	ジメチルスズ化合物	○				GC/MS	0.18 μg/L
					○	GC/MS	200ng/m <sup>3</sup> 以下で、かつ、技術的に可能な最小値
23	N,N-ジメチルプロパン-1,3-ジイルジアミン	○				LC/MS	5.6 μg/L
24	水素化テルフェニル				○	GC/MS	4,900ng/m <sup>3</sup>
25	テトラエチルチラウム=ジスルフィド	○				LC/MS	0.12 μg/L
26	2,3,5,6-テトラクロロ-p-ベンゾキノン	○				GC/MS	0.46 μg/L
27	トリエタノールアミン	○				LC/MS	0.23 μg/L
28	(E)-4-(2,6,6-トリメチルシクロヘキサ-1-エン-1-イル)ブタ-3-エン-2-オン (別名:ヨノン)	○				GC/MS	0.37 μg/L
29	1,5,5-トリメチル-1-シクロヘキセン-3-オン (別名:イソホロン)	○				GC/MS	0.027 μg/L
30	1,2,3-トリメチルベンゼン	○				GC/MS	0.7 μg/L
31	N-ニトロソジメチルアミン				○	GC/MS	0.07ng/m <sup>3</sup>
32	ビス(4-アミノシクロヘキシル)メタン) (別名:ジアミノジシクロヘキシルメタン)	○				LC/MS	6 μg/L
33	1,3-ビス[(2,3-エポキシプロピル)オキシ]ベンゼン	○				GC/MS	21 μg/L
34	ビス(2-スルフィドピリジン-1-オラト)銅	○				LC/MS	10 μg/L
35	(Z)-N,N-ビス(2-ヒドロキシエチル)オレアミド	○				LC/MS	0.114 μg/L
36	ヒドラジン	○				GC/MS	0.007 μg/L
37	1-ブタノール	○				GC/MS	4.10 μg/L
38	プロパン-1,2-ジオール (別名:1,2-プロパンジオール)	○				GC/MS	0.2 μg/L
39	ヘキサメチレンジアミン	○				LC/MS	4 μg/L
					○	LC/MS	60ng/m <sup>3</sup>
40	メチルエチルケトン	○				GC/MS	1.0 μg/L
41	N-メチルジデカン-1-イルアミン	○				LC/MS	0.002 μg/L
42	モノブチルスズ化合物				○	GC/MS	技術的に可能な最小値

## 平成 27 年度以降の調査要望物質のうち既存の分析法がある物質

No.	CAS 登録番号	物質名	要望施策	要望理由	調査 媒体
1	68411-30-3 等	アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム(アルキル基の炭素数が10から15までの直鎖のもの。)(別名:LAS(アルキル基の炭素数が10から15までの直鎖のもの。))	化審法	優先評価化学物質であり、第二種特定化学物質への指定について検討する必要があるが、近年の環境調査実績がないため。	水質
2	128-37-0	2,6-ジ- <i>tert</i> -ブチル-4-メチルフェノール (別名:BHT)			水質 底質 生物
3	1643-20-5	<i>N,N</i> -ジメチルドデシルアミン= <i>N</i> -オキシド			水質 底質
4	106-46-7	<i>p</i> -ジクロロベンゼン			水質
5	120-83-2	2,4-ジクロロフェノール	化管法	第二種指定化学物質であるが、これまで環境実態調査はなされていなかったため、環境実態調査を行い、その結果によっては指定の見直しを検討するため。	水質
6	7440-22-4	銀及びその化合物	環境リスク 初期評価	化学物質の環境リスク初期評価を実施する上で、ばく露情報等が不足しているため。	水質
7	114-07-8	エリスロマイシン	EXTEND	EXTENDを実施する上で、ばく露情報等が不足しているため。	水質
8	79-57-2	オキシテトラサイクリン			水質
9	818-61-1	アクリル酸 2-ヒドロキシエチル	大気環境	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質リストに選定されており、近年の大気媒体での調査実績もなく、有害性の基準値及び化管法に基づく届出排出量から推計した大気中濃度を踏まえ、健康リスクが高いと考えられたため。	大気

## 平成 27 年度以降の調査要望物質のうち分析法の開発が必要な物質

No.	CAS 登録番号	物質名	要望施策	要望理由	調査 媒体
1	75-15-0	二硫化炭素	化 審 法	優先評価化学物質又は優先評価化学物質相当物質であり、第二種特定化学物質への指定について検討する必要があるが、近年の環境調査実績がないため。	水質 生物
2	62-53-3	アニリン			大気
3	101-14-4	4,4'-ジアミノ-3,3'-ジクロロジフェニルメタン			水質 生物
4	250578-38-2	[3-(2-エチルヘキシルオキシ)プロピルアミン]トリフェニルホウ素(III)			水質 底質 生物
5	960-71-4	トリフェニルホウ素(III)			水質 底質 生物
6	64440-88-6	ビス( <i>N,N</i> -ジメチルジチオカルバミン酸) <i>N,N'</i> -エチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛) (別名:ポリカーバメート)			水質 底質
7	97-77-8	テトラエチルチウラムジスルフィド (別名:ジスルフィラム)			底質 生物
8	1330-20-7	キシレン			水質 生物
9	91-20-3	ナフタレン			水質 底質 生物
10	9016-45-9	$\alpha$ -(ノニルフェニル)- $\omega$ -ヒドロキシポリ(オキシエチレン) (別名:ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル)			底質 生物
11	139-13-9	ニトリロ三酢酸			水質 生物
12	5989-27-5	( <i>R</i> )-4-イソプロペニル-1-メチルシクロヘキサ-1-エン (別名:リモンエン)			水質 底質 生物
13	120-51-4	安息香酸ベンジル			底質 生物

No.	CAS 登録番号	物質名	要望施策	要望理由	調査 媒体
14	112-53-8	1-ドデカノール			水質 底質 生物
15	61788-90-7 及び 3332-27-2等	<i>N,N</i> -ジメチルアルカン-1-アミン=オキシド(アルキル基が直鎖であり、かつ炭素数が10、12、14、16又は18のもの)、( <i>Z</i> )- <i>N,N</i> -ジメチルオクタデカ-9-エン-1-アミン=オキシド若しくは(9 <i>Z</i> ,12 <i>Z</i> )- <i>N,N</i> -ジメチルオクタデカ-9,12-ジエン-1-アミン=オキシド			水質 底質 生物
16	29560-84-7 等	3-クロロ-2-プロペン-1-オール			水質
17	2345-61-1等	3-クロロ-2-プロペン酸			水質
18	74-83-9	ブロモメタン(別名:臭化メチル)			水質
19	75-21-8	エチレンオキシド			水質
20	50-00-0	ホルムアルデヒド			水質
21	95-63-6	1,2,4-トリメチルベンゼン			底質 生物
22	106-46-7	<i>p</i> -ジクロロベンゼン			底質 生物 大気
23	9002-92-0等	$\alpha$ -アルキル- $\omega$ -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)(アルキル基の炭素数が12から16までのもの。)(別名:ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から16までのもの。))			生物
24	75-04-7	エチルアミン			水質
25	14915-37-8	ビス(2-スルフィドピリジン-1-オラト)銅(別名:ビス(2-チオピリジノナト)銅(II))			生物
26	74-87-3	クロロメタン			水質

No.	CAS 登録番号	物質名	要望施策	要望理由	調査 媒体	
27	5064-31-3	トリナトリウム=2,2',2''-ニトリロト リアセタート	化管法	化管法の施行状況について検討するに当たり、一定の有害性が認められるものの、環境実態調査が近年なされていないことから、本調査の結果を踏まえて見直し等を検討するため。	水質	
28	2809-21-4	(1-ヒドロキシエタン-1,1-ジイル) ジホスホン酸			水質	
29	1241-94-7	りん酸(2-エチルヘキシル)ジフェ ニル			第二種指定化学物質である が、これまで環境実態調査は なされていなかったため、環境 実態調査を行い、その結果に よっては指定の見直しを検討 するため。	水質
30	2528-36-1	りん酸ジ- <i>m</i> -ブチル=フェニル				水質
31	103-69-5	<i>N</i> -エチルアニリン				水質
32	97-02-9	2,4-ジニトロアニリン				水質
33	87-59-2	2,3-ジメチルアニリン				水質
34	99-08-1	<i>m</i> -ニトロトルエン				水質
35	100-02-7	<i>p</i> -ニトロフェノール				水質
36	611-06-3	2,4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン			水質	
37	882-33-7	ジフェニルジスルファン(別名:ジ フェニルジスルフィド)			環境リスク 初期評価	化学物質の環境リスク初期評 価を実施する上で、ばく露情報 等が不足しているため。
38	101-68-8	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジ イソシアネート	大気			
39	96-45-7	2-イミダゾリジンチオン	水質			
40	90-04-0	<i>o</i> -アニシジン	大気			
41	119-93-7	3,3'-ジメチルベンジジン(別名: <i>o</i> -トリジン)	大気			
42	120-71-8	2-メトキシ-5-メチルアニリン	大気			
43	91-59-8	2-ナフチルアミン	大気			
44	206-44-0	フルオランテン	底質			
45	15307-86-5	ジクロフェナク	EXTEND	EXTENDを実施する上で、ば く露情報等が不足しているた め。	水質	
46	79617-96-2	セルトラリン			水質	
47	61869-08-7	パロキセチン			水質	
48	74-90-8	シアン化水素	大気環境	有害大気汚染物質に該当する 可能性がある物質リストに選 定されており、近年の大気媒 体での調査実績もなく、有害性 の基準値及び化管法に基づく 届出排出量から推計した大気 中濃度を踏まえ、健康リスクが 高いと考えられたため。	大気	